

東海ブロック クラブネットワークアクション 2015 開催報告

日時：〔第1日目〕平成27年11月13日（土）13:00～17:00

〔第2日目〕平成27年11月14日（日）9:00～12:00

会場：愛知県教育会館 7階会議室

内容：

〔1日目〕

- ①事例発表： テーマ「クラブの理念を再確認」
- ②シンポジウム： テーマ「クラブの理念確認」
- ③日本体育協会からの情報提供

〔2日目〕

- ①グループディスカッション
クラブの財源確保・クラブの人材確保・クラブの理念共有と浸透
- ②講演：「スポーツ庁の設置と今後の地域スポーツについて」

【概要】

総合型地域スポーツクラブ事業が始まって10年以上が経過し、東海4県のクラブにおいても設立後10年を超えるクラブが増えています。クラブ運営に係る人々が、設立時の理念を見直す機会を提供し、クラブスタッフがぶれない理念を共有する姿勢を育成したいと考え、各県から代表クラブを選出してもらい、事例発表及びシンポジウムを行いました。併せて、人材確保や財源確保といった最近のクラブが直面する問題について意見を交換し、解決の糸口を得るためのきっかけとすることができるよう、クラブ運営の課題となっている①財源確保について、②人材確保について、③理念の共有についての3つのテーマについて意見交換を行い、解決の糸口をはかるきっかけ作りを行いました。また最後のプログラムとして、スポーツ庁の竹河氏より「スポーツ庁の設置と今後の地域スポーツについて」でご講演いただき、スポーツ庁の設立が地域スポーツにどのような影響を与え、また今後地域スポーツクラブが果たすべき役割について考える機会を得ることができました。

【内容】

〔1日目〕

【事例発表について】

①静岡県総合型地域スポーツクラブTACの杉山氏、②岐阜県せき西部ふれあいスポーツクラブの山田氏、③三重県かんべスポーツクラブの稲濱氏、④愛知県高橋スポーツクラブ中村氏の代表者4名にそれぞれのクラブの理念や理念を共有するために行っていることなどを発表していただきました。1クラブ15分という限られた時間だったこともあり、クラブ概要とテーマの理念についてお話しただけで時間切れという状況でしたが、次のシンポジウムでの発言の際にクラブ補足説明等をしていただきました。

【シンポジウムについて】

事例発表の4氏と、東海ブロック実行委員長の築瀬氏をコーディネーターとして、クラブの理念共有についてシンポジウムを行いました。事例発表のところでできなかったクラブに対しての基本的な質問がいくつか出され、テーマについての議論が少し短くなってしまいましたが、徐々に本題のクラブの理念についての議論が進展しました。クラブ設立当初からクラブ運営に関わっている方々は、クラブの理念に通じている方が多いのですが、設立後に関わることがなくなった方々に対してクラブ理念の共有を図ることがなかなか難しいという意見が出ました。総合型クラブにとって理念は活動の原点であり、今後も各クラブで理念の共有を図り、努力していくことが必要であるという意見でまとまりました。



[2日目]

【テーマ別ディスカッションについて】

1) 財源確保について

岐阜みずほスポーツガーデン事務局長の岸田氏にコーディネートをお願いし、クラブの財源の洗い出しを行いました。その後、参加者から意見を出してもらい、洗い出されたクラブ財源の分類を行いました。クラブの「カネ」を分類することで、収入にも稼ぐ「カネ」、もらう「カネ」、といった形に分類ができ、今後のクラブの財源確保について改めて考えることができました。

2) 人材確保について

しもやまスポーツクラブ事務局長であり、東海ブロック実行委員長も務めている築瀬氏が担当し、クラブの人材確保について話し合われました。出席した参加者の人々がクラブに参加することになったのか経緯を聞くことで、自分たちのクラブで活動してくれる人材をどのように発掘したらいいのか考えるきっかけづくりができました。

3) 理念の共有について

元滋賀県体育協会クラブ育成アドバイザーの河北氏にコーディネートを担当していただき、クラブ理念の共有について考えました。A4用紙を4つに区切ってそれぞれのテーマについての内容を記載し、グループワークを進める手法が紹介されました。また、ホワイトボードを使って参加者の意見を書き出し、共有作業を行うことができる手法でクラブ理念の共有を図りました。クラブ理念についての話し合いは難しく考えられがちですが、こうしたツールを使うことでクラブ内でも活発な議論が行われることが期待され、有意義な内容となりました。



【講演について】

今年10月1日に発足したスポーツ庁健康スポーツ課の竹河係長にお越しいただき、「スポーツ庁の設置と今後の地域スポーツについて」ご講演いただきました。講演ではスポーツ基本法やスポーツ庁の理念等についてお話いただきました。紹介された事例の中には文部科学省の委託事業の事例などが紹介され、今後の地域スポーツの推進に総合型クラブがどんな役割が果たせるかといったことについて考えることができました。



【まとめ】

今回は「理念の共有」を1日目のテーマとして、事例発表とシンポジウムが行われました。日々のクラブ事業に追われている中では、半ば置き去りになりがちではありますが、今回の議論においてクラブ関係者の方々には、改めて考える時間となったのではないのでしょうか。また、テーマ別グループワークでは、各コーディネーターの方々の引き出しによって、参加者の方々から様々な意見が出され、出席者のほぼ全員が発言するなど、双方向での情報交換ができたのではないかと感じました。

今後はさらに内容を吟味し、より多くの方々に参加して頂けるような研修会の内容を考えていきたいと思っています。

東海ブロッククラブネットワークアクション2015
実行委員長 築瀬 歩